

令和2年12月吉日

日本気象学会 2021 年度春季大会 趣意書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、公益社団法人日本気象学会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本気象学会は、2021 年度春季大会を 2021 年 5 月 18 日（火）～ 21 日（金）を含む 1 週間程度の日程で行う予定です。一般研究発表および高校生・高専生（中学生も可）を対象としたジュニアセッションについては、インターネットによるウェブ開催の予定です。総会、授与式、受賞記念講演、シンポジウムについては、筑波大学大学会館にて実施の予定です。

本学会は、気象学をはじめ、環境科学や気候学などの諸分野の科学者、技術者、大学院生などの参加により、気象学と大気諸科学の発展、気象災害の防止と関連産業の発展に貢献して参ります。また、地域的短期予報、季節予報の充実、気象情報の社会への還元など、より身近な社会問題への貢献だけでなく、地球温暖化などの地球規模の問題も研究対象としております。

本学会は 1882 年（明治 15 年）に東京気象学会として設立されて以来、140 年に及ぶ歴史を有しております。2013 年 4 月 1 日からは公益社団法人の認定を受け、学問の発展と社会への貢献を充実させて参りました。現在では、個人と団体などを含め 3,403 名（2020 年 12 月現在）の会員を擁し、毎年春秋 2 回の全国大会の開催、研究会や講演会の開催、機関誌と学術専門誌の発行、その他の図書の刊行、研究の奨励と表彰などの事業を行っております。

2021 年度春季大会の準備と運営にあたっては、会員の奉仕活動などにより、可能な限り経費を切り詰める所存です。しかしながら、学会予算と大会参加費だけで全費用を賄うことは困難です。そこで、はなはだ恐縮ではございますが、別紙「賛助金募集要項」をご覧ください、広告掲載を通じての賛助を賜りますようお願い申し上げます。賛助いただけますと、2021 年度春季大会の期間中、貴社名と貴社ホームページへのリンクを本学会ホームページに掲載致します。また、貴社が人材募集をされている場合は、リンク先と共に人材募集中であることを明記致します。将来、貴社で活躍できる人材発掘のための機会として、ご利用頂ければ幸いに存じます。

貴社の気象学、大気科学、環境科学への貢献を広く会員に提示する機会として、本大会を是非ともご活用いただければ幸甚に存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

日本気象学会 2021 年度春季大会委員長
筑波大学 教授
植田 宏昭

